

# 連時 *Renpoh*

No. 320

発行日●平成 29 年 5 月 31 日  
発行人●飯田メディカルヒルズ  
編集 IMH 広報委員会  
長野県飯田市毛賀 1707 番地  
TEL 0265 - 26 - 8111 (代)

特集

## 創立 43 周年記念式典・祝賀会

### 永年勤続表彰・新入職員歓迎



永年勤続者表彰の様子



## IMH創立43周年記念式典・祝賀会

～新入職員入職式・永年勤続者表彰式～



新入職員辞令及び職員証交付の様子



## 第I部 記念式典



理事長 土屋 隆 式辞

この一年間に、飯田メディカルヒルズ（IMH）関連全施設および在宅において、お亡くなりになった方々に対して、謹んで哀悼の意を表して黙祷を捧げます。

〈黙祷〉

今年も、こうして43回目の創立記念日を迎えることができました。これは、偏に、多くの皆様のご理解ご支援の賜であることを、忘れてはならないと思います。

しかし、何と言っても、その第1の原動力となったのは、これから、永年勤続表彰を受けられる皆様をはじめこのIMHに在籍した全職員のご尽力の結果であります。

今年は、厳冬だった故か、病院前の紅梅・白梅は、例年なら散ってしまっているのに、今なお満開を保っています。病院脇の天竜河畔の彼岸桜の開花も、やや遅れているようです。

とは言え、陽春麗らかな今日の佳き日に、入職された諸君に対して申し上げます。「入職、おめでとうございます」。

諸君が、医療・福祉関連の職種を選択された見識と、さらに、このIMHの一員になることを決断された気概に対して心から敬意を表します。

桜花爛漫！心うきうき華やぐ季節であります。新たな出会いと別れがあり、一方で、なぜか少々不安な、感傷的な複雑な気分になる時季でもあります。

これが気楽な学生生活に別れを告げ、厳しい社会の一員になったという区切りであることを、明確に認識しなければなりません。

諸君は、患者さん、入所者の皆さん、また同僚

の皆さんと良い人間関係を築いて行くに当たって、最も大切なことは、職業人として真摯な姿勢で、思いやりの心、尊敬の気持ちを持って接することです。また、今日まで、お世話になったご家族をはじめ先生方、ご支援下さった皆様に対する感謝の気持ちも忘れないようにしましょう。

これから先、経験、知識を積んで一人前になって行くのですが、ベテランになっても、謙虚さを失ってはなりません。

以上の心構えをしっかりとって、自身に課せられた責務を、誠心誠意全うしていく限り、諸君たちの人生が、安定した希望あるものになることは、間違いありません。

新入職の諸君が、この組織に新たな活力を注いでくれることを、大いに期待しております。

今日という日が、経験豊かな先輩と清新な後輩がチームワーク宜しきを得て、IMHの一層の発展に向けてスタートする記念すべき機会になるよう願って、入職に当たっての訓辞と致します。

次に、永年勤続の皆さんに、心からお祝いと感謝を申し上げます。

今日まで、倦まず弛まず勤続できたということは、皆さんが、それなりの条件に恵まれていたからであろうと思います。

その条件の第一は、健康であったということです。ご両親から受け継いだ健全な心身に加えて、自己管理がきちっと出来ていた証でもありましょう。

次は、ご本人を取り巻く環境です。ご家族をはじめ周囲の皆さんのご理解とご協力に感謝しなければなりません。

しかし、一番大事なことは、言うまでもなくご本人の勤労精神です。今日に至るまでには、長い人生です、有為転変いろいろあったことでしょう。

楽しいことや嬉しいこと、良いことばかりではありません。悲しいことや辛いこと、あるいは絶望的な窮地に陥って、夜も眠れないくらいに、思い悩んだこともあったかもしれません。

しかし、その苦境を不撓不屈の精神をもって乗り越えて、今日を迎えるに至った皆さんに対して、心から敬意を表する次第です。

よって、茲に永年勤続の功績を称え表彰致します。

# 理事就任挨拶

理事 土屋 公威



このたび2017年4月より輝山会に着任いたしました土屋公威と申します。私は、これまで東京医科歯科大学の呼吸器内科医局に属しておりました。2017年3月末まで大学病院に勤務しておりましたが、この度、皆さんのお仲間に入れて頂けることになりました。どうぞ宜しくお願い致します。

入職式の際に露久保院長からご紹介頂きましたように、私は、現理事長の倅であります。父親から「医師になれ」「親の仕事を手伝え」などと言われなかったこともあり、これまで父とは異なる呼吸器内科という分野で研究・留学などを含め約20年間自分の好きなように医学の道を進んで参りました。

ところが、数年前に父より、『輝山会グループに所属する職員数が500人を超えたので、自分の余生の仕事は、職員の皆さんに安定した生活、希望の持てる人生を保障してやることだ。そうすることが延いては患者さん、利用者の皆さんに、真に質の良い医療・介護を提供することにつながる』という意味の言葉を聞きました。私としてもその内容を大変よく理解できましたので、それ以来、私でも何かお手伝い出来ることがあるのではないかと考えるようになりました。前職を辞するまでには少々時間を要しましたが、この度、3月31日の勤務を最後に飯田にやっ

てまいりました。

大学病院では研究・教育・臨床と多岐にわたる業務がありますので、地域医療を担っている輝山会のような医療機関とは役割が大きく異なるように思いますが、患者さん、利用者の皆さんやその家族の幸せを願うという点においては、大きく変わることはないと思っております。

理事長からは、今後は診療だけではなく医業経営についても勉強するように言われております。1日も早くこの組織に順応して、チームの一員となれますよう努めてまいり所存ですので、皆様ご指導の程どうぞ宜しくお願い致します。

## 略歴

- 平成 8年3月 国立大学法人  
東京医科歯科大学医学部卒業
- 平成 10年6月 土浦協同病院内科
- 平成 12年6月 武蔵野赤十字病院呼吸器科
- 平成 14年4月 横浜赤十字病院呼吸器科
- 平成 18年4月 北信総合病院呼吸器内科
- 平成 19年4月 カナダマギル大学ミーキンス・クリスティー研究所博士研究員
- 平成 22年1月 国立大学法人  
東京医科歯科大学医学部  
呼吸器内科助教
- 平成 24年9月 国立大学法人  
東京医科歯科大学医学部  
呼吸器内科講師



院長 露久保 辰夫 より 土屋理事紹介の様子



4月2日(日)、レインボーホールに於いて、『IMH創立43周年記念式典・祝賀会～永年勤続表彰・新入職員歓迎～』が挙行されました。新入職員24名に辞令及び職員証が交付されました。その後の永年勤続表彰では、58名の職員(勤続5年～40年)が表彰されました。

## 新入職辞令及び職員証交付



## 新入職員代表 誓いの辞



新入職員を代表いたしまして、ひとこと誓いの辞を述べさせていただきます。桜の便りが聞かれる、この美しい時期に、私ども新入職員のために、このように厳粛で、心に残る入職式を催していただき、誠にありがとうございます。先ほど、理事長様からいただいたお言葉を、しっかりと心に留め、誠心誠意努めてまいり所存でございます。

今日から、<保健・医療・福祉>を三位一体

とした、サービス提供体制のもと、それぞれの能力を精一杯発揮し、この飯田下伊那地域に貢献できますことを、大変光榮に存じております。

患者様・利用者様はもちろん、地域の多くの方々から信頼して頂けるよう、知識・技術の獲得に努め、一つ一つの経験を活かし、日々の努力を続けてまいります。

また、今日共に入職した仲間たちとの巡り合いを大切に、組織の中で大きな力となるために協力していきたいと思っております。

とはいえ、何分にも私どもは、未熟でございますので、先生方をはじめ、諸先輩方のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後に一日も早く、立派な組織の一員となり、患者様・利用者様の支えとなれるよう、日々精進することを、ここにお誓い申し上げます。

新入職員代表 佐々木 祐美

## 勤続者表彰式～



開式の辞

名古屋東栄クリニック院長 本多 英邦



コーラス部『グリーン・エコー』と会場全員による院歌斉唱



## 永年勤続者の表彰



### 永年勤続者代表 お礼の詞



永年勤続者一同を代表いたしまして、一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

広域医療法人として、新たな歴史をきざみ始めた最初の春に挙行された、この良き日の第四十三回飯田メディカルヒルズ創立記念式典において、栄誉ある永年勤続表彰を賜る幸運に、一同喜びを禁じえません。私どもそれぞれが永年勤続を果たし得ましたのも、理事長先生をはじめ、諸先輩、同僚、ならびに組織全員の方々の、ご指導ご鞭撻の賜物と心から感謝いたしております。

私が入職して半年後に、名古屋東栄クリニックは現在の伏見の自社ビルに移転しました。それ以前の栄三越の斜め向かいで創業した頃を知っている名古屋職員は、私を含め三人のみとなります。栄では創業時より応援いただいていた飯田職員の方々と、予防医学の充実という同

じ目標を追い、忙しい中にも飯田・名古屋の隔たりなく、和気あいあいと業務に従事していた事を大変懐かしく思い出されます。

伏見に移ってからは、日本初のホテルを備えた健診センターと注目を浴び、テレビ、新聞、雑誌の取材が絶えず、『ホテルのような施設でリラックスして受けられる人間ドック』として全国から注目され、賞賛を受けました。今年も伏見に移転して三十年、私は勤続三十年、共に歩んだ歳月をかえりみますと感慨深いものがあります。

『すべてに優先して・人命尊重』『心をこめたおもてなし・ヴィラドサンテ（健康のための別邸）』『疾病の予防と早期発見・転ばぬ先の杖』この三つの名古屋東栄クリニックの理念を胸に『保健・医療・福祉』を三位一体とする飯田メディカルヒルズの一員として、それぞれの専門分野において、一層の努力研鑽をしまります。

今年も多くの方の皆さんが入職されました。新入職員の皆さんとともに広域医療法人としての新たな歴史をきざむため、私どもも初心にかえり、謙虚な姿勢で日々精進する所存であります。

何卒従来にも増して、ご指導、ご支援賜りますよう心からお願い申し上げ、お礼の言葉にかえさせていただきます。

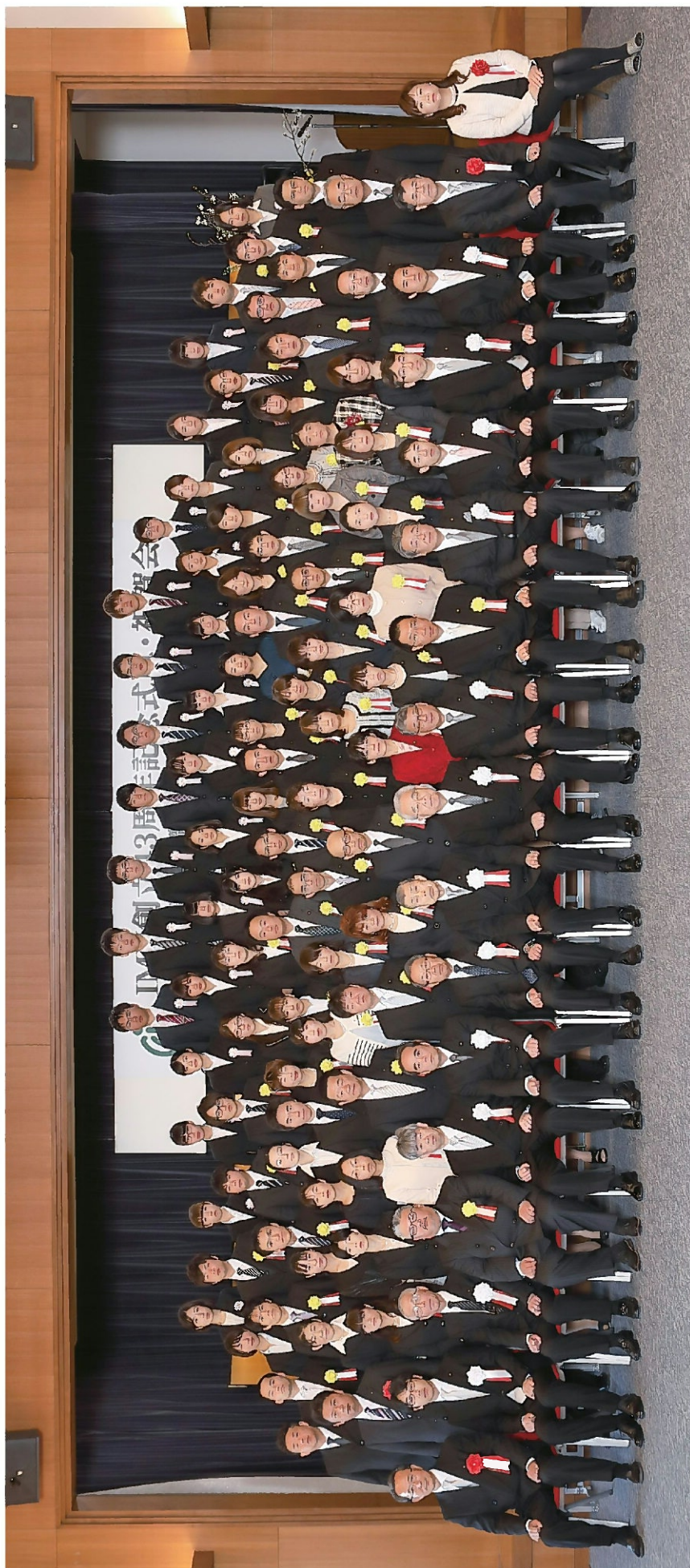
本日は誠にありがとうございました。

永年勤続者代表 藤下 由美子



閉式の辞  
副院長 前本 勝利





第43回 飯田メデイカルヒルズ創設記念式典・祝賀会

平成29年4月2日

— 永年勤続受賞者・新入職員 —



## 第Ⅱ部 祝賀会



# IMH創立43周年記念式典・祝賀会

## ～新入職員入職式・永年勤続者表彰式～



### 理事長 土屋 隆 祝辞

先ほど表彰をお受けになった永年勤続の皆さん、おめでとうございます。皆さんは、今や、この組織にとって、掛け替えのない有為な人財であります。

模範的な立派な先輩として、次代を担う後輩達の指導に当たって頂きますようお願い致します。

また、新入職なされた諸君にも、あらためて、おめでとうと申し上げます。

この組織には、先ほど永年勤続者表彰をお受けになった先輩をはじめ、立派な先輩が大勢います。この方々は、どのような信念を持って、今日まで成功の道を行って来たのでしょうか。毎年、申し上げていることですが、ある学者は、成功への基本的三条件を説いています。

- その条件は、
- 1) 明るく素直であること
  - 2) 勉強が好きであること
  - 3) 物事を悲観的に考えない、  
プラス思考

であること、です。

これに加えて、思いやりの心と感謝の気持ちをいつまでも忘れないことが大切です。

今日まで、勤続できた多くの諸君が、自身の人

生を省みて、悔いはない、成功であったと思えるのは、この条件が備わっていたということです。

私は、長年にわたって、諸君の成長過程を観て来た者の一人として、さもありなんと全く同感であります。

この基本的条件は、組織にとっても必須であります。

このようなスタッフによって構成される組織が、大きく成長・発展することは間違いありません。

このことを、しっかり銘記しておいてください。

さらに、本年度からは、院内に設置しました『2016 保健・医療・福祉提供体制改革ビジョン推進会議』の提言に沿って、具体的な活動に入っております。

新入職の諸君は、その実行部隊として、キーワードであります2025年を迎える際の主役となるのであります。

諸君を含めた強力な布陣で、次の大きな節目となる創立50周年を迎えたいと思います。

おわりに、これからの楽しいひと時の中で、お互いの健闘を称え合い、励まし合って、明日からの英気を養うことにしましょう。





創立記念式典後、祝賀会が執り行われました。被表彰者、新入職員を祝い、また、会場にいる職員全員でこれからの輝山会グループの発展を誓い合いました。

ご馳走を囲み、職員同士の交流も深めることができ、素晴らしい会となりました。

## 鏡開き & 乾杯



左から 総務部長 木下進、万年青苑介護支援専門員 梅村浩正、武井一男税理士事務所所長 武井一男 様、療養病棟看護主任 村山和子、管理本部主任 柏原利彦



左から 名古屋東栄クリニック 労務・庶務課主任 柳佳良、名古屋東栄クリニック 画像診断科技師主任 高橋絵里子、宇佐美基彦税理士事務所所長 宇佐美基彦 様、回復期リハビリ北病棟クラーク主任 清水めぐみ、名古屋東栄クリニック 画像診断科技師主任 長谷川千泉



開会の辞  
副院長 仁科 裕之





## 新入職員自己紹介

ひとりひとり、仕事に対する意気込みを述べました

### IMH創立43周年記念式典・祝賀会 ～新入職員入職式・永年勤続者表彰式～



## 余興



P i P P i n (ピピン)

総務課主任 北澤 奈菜

ギタリスト 桑原 利彦 様

### ギタリスト 桑原 利彦 様

11歳よりギターを始め、高校在学中よりギタリスト小原聖子の門下となり、クラシックギター奏法・音楽理論等の教えを受けられました。その後、ジャズ、ポピュラーなど、様々なスタイルを取り入れ、現在は飯田市を拠点に幅広い演奏、作曲活動や、音楽イベントの企画プロデュースなど多方面にてご活躍されています。また、当院職員の北澤奈菜ともユニットP i P P i n (ピピン)として音楽活動をされています。優しいメロディーが会場を包み込みました。



新入職員による余興ではスピッツの「空も飛べるはず」を全員で合唱





### サライ合唱

全員で手を繋ぎ、輪を作って恒例のサライを合唱



### 万歳三唱

最後の締めくくりに、輝山会の発展を願って万歳三唱



## IMH創立43周年記念式典・祝賀会 ～新入職員入職式・永年勤続者表彰式～



左から 看護部長 櫻井俊夫、武井一男税理士事務所副所長 内田幹子 様、理事長補佐 原修、宇佐美税理士事務所 山田昌男 様、新入職員・理学療法士 原知花



閉会の辞  
副院長 平井 敦